

4 京都府環境基本計画の 見直しについて

本日御議論いただきたい事項

論点① 次期計画の全体構成(柱立て)

論点② 次期計画の目標年次

論点③ 目指すべき環境像・社会像

論点①

次期計画の全体構成(柱立て)

(別添)資料4-1 次期計画の全体構成(案)

(別添)資料4-2 現行計画の全体構成(案)

論点① 次期計画の全体構成(柱立て)

現行計画からの見直しポイント(盛り込むべき新たな視点)

- 持続可能な開発のための目標(SDGs)の考え方
- 環境×経済×社会の統合的向上、好循環システムの構築
- あらゆる主体のパートナーシップ(中間組織と府民の連携強化)
- 特段意識しなくても日常の行動が結果的に環境を守ることができる社会

前回の部会でのご意見

- 環境負荷が少なく、夢のある社会を目指すべき
- 人材育成の観点は不可欠。次世代の子供達が楽しく過ごしていける社会像を描くべき

論点① 次期計画の全体構成(柱立て)

○次期計画の全体構成(別紙4-1)について

- ・方向性の相違はないか。
- ・さらに盛り込むべき要素はないか。

論点②

次期計画の目標年次

京都府及び国内外の計画等の目標

■ 京都府

計画等	年月日	計画期間	中期目標	長期目標
新京都府環境基本計画(現行計画)	2010.10	おおむね2020年度を目途		<ul style="list-style-type: none"> • 21世紀半ば(2050年頃)の京都府が目指すべき環境像や将来像を展望
京都府地球温暖化対策条例	2011.4 改正		2030年までに40%削減(1990比)	<ul style="list-style-type: none"> • 2050年までに80%削減(1990比)
京都府総合計画(仮称)中間案 ※パブリックコメント中	2019.10 策定予定	2023年度末まで	目標年次なし (2030年度までに40%削減(1990比))	<ul style="list-style-type: none"> • 20年後(2039年)に実現したい姿 今世紀後半での温室効果ガス排出実質ゼロ(脱炭素社会の実現)に向けた社会の仕組みを構築

■ 国内外の状況

計画等	年月日	中期目標	長期目標
国地球温暖化対策計画	2015.7.17	2030年までに26%削減(2013比)	<ul style="list-style-type: none"> • 2050年までに80%削減(2013比)
パリ協定	2016.11 発効		<ul style="list-style-type: none"> • 産業革命前からの世界の平均気温上昇を2℃未満にし、さらには1.5℃以内に抑えるよう努力 • 今世紀後半に温暖化ガス排出を実質ゼロ
1.5℃特別報告書(IPCC)	2018.10	2030年までに45%削減(2010比)	<ul style="list-style-type: none"> • 2050年頃(2045-2055)までに実質排出量ゼロ
パリ協定長期成長戦略	2019.6.11 閣議決定		<ul style="list-style-type: none"> • 2050年までに80%削減(2013比) • 今世紀後半のできるだけ早期に「脱炭素社会」を実現

<参考>

地方公共団体実行計画(区域施策編)策定・実施マニュアル(本編)Ver. 1.0
(平成29年3月環境省)

- ◆パリ協定の趣旨を踏まえ、地球温暖化対策計画に即する観点からは、2013年度(又は2005年度)を基準年度とし、2030年度を目標年度と設定することが望まれます。なお、長期目標を設定する場合は、2050年度を設定することが望まれます。
- ◆仮に、基準年度を2013年度(又は2005年度)としないこととした場合であっても、地球温暖化対策計画に即する観点から、2013年度(又は2005年度)比の値も併記することが望まれます。

区 分	設定が望まれる年度
基準年度	2013年度(又は2005年度)
目標年度	2030年度
(長期目標)	2050年度

論点② 次期計画の目標年次

(1) 次期計画の目標年度をいつにするか。

計画の目標年度 ⇒ _____ 年

(2) 目指すべき社会像・環境像(長期ビジョン)はどの時期の姿を描くか。

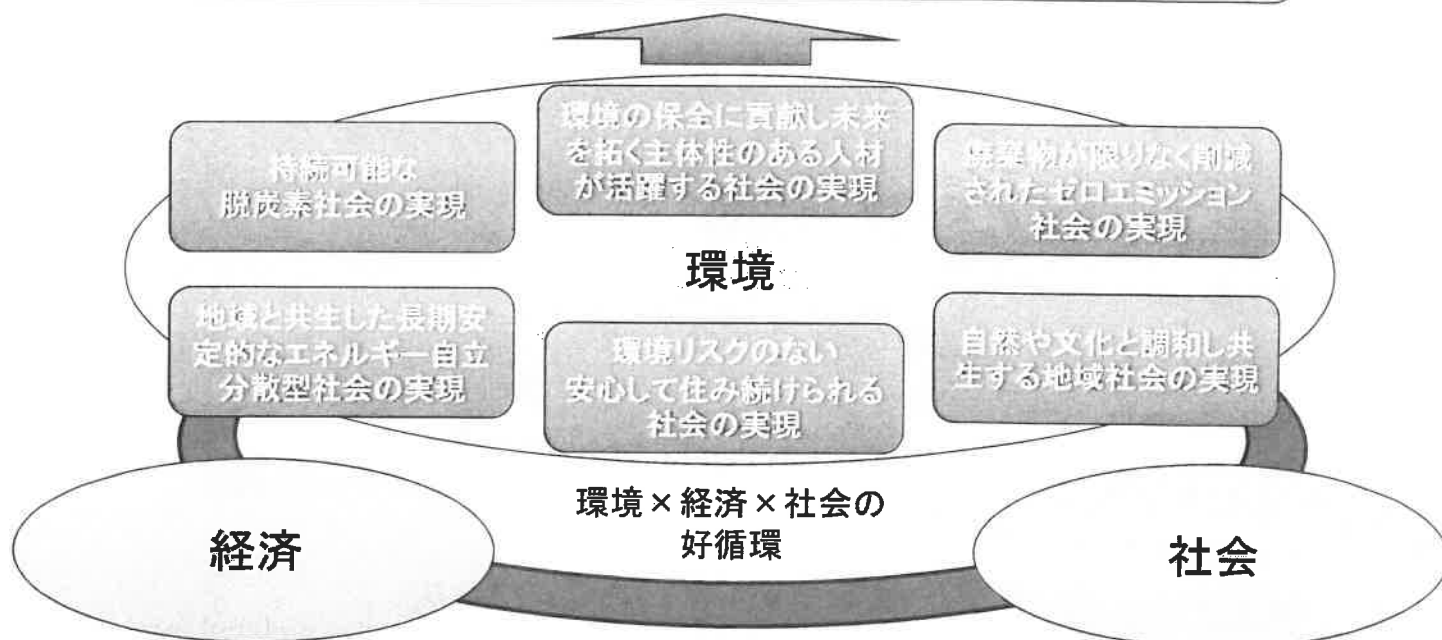
長期ビジョンの時期 ⇒ _____ 年

論点③

目指すべき環境像・社会像

論点③ 目指すべき環境像・社会像

環境と経済が両立され、府民一人ひとりが参画する
夢や生きがいのある持続可能な社会の実現



パートナーシップの強化、SDGsの考え方導入、AI・IoT等の活用

論点③ 目指すべき環境像・社会像

(1) 全体を総括する社会像(案)へのご意見

環境と経済が両立され

府民一人ひとりが参画する

夢や生きがいのある

持続可能な社会の実現

論点③ 目指すべき環境像・社会像

(2) 分野別の社会像(案)へのご意見

➤ 環境教育

「環境の保全に貢献し未来を拓く主体性のある人材が活躍する社会の実現」

➤ 温暖化対策

「持続可能な脱炭素社会の実現」

➤ エネルギー

「地域と共生した長期安定的なエネルギー自立分散型社会の実現」

➤ 循環型社会

「廃棄物が限りなく削減されたゼロエミッション社会の実現」

➤ 自然環境

「自然や文化と調和し共生する地域社会の実現」

➤ 環境管理

「環境リスクのない安心して住み続けられる社会の実現」